

IMAGENICS

VIDEO UP CONVERTER

UC-XP1

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。



UC-XP1 は、NTSC ビデオ信号をパソコン用 RGB 信号、VGA, SVGA, XGA に変換するビデオアップコンバータです。新世代プログレッシブエンジンと最新のデジタル技術により、高画質・高解像度・高品質で信号変換します。この取扱説明書をよくご覧になった上、保証書と共に本書をいつでも見られる場所に保管ください。

安全にお使いいただくために

本機は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、誤った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。









絵表示について












この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのさまざまな絵表示をしてあります。その表示を無視して、誤った取り扱いをする事によって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してからお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある事を示しています。	 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり物的な損害を負う可能性がある事を示しています。
---	--	---	--

絵表示の意味(絵表示の一例です)

	注意(警告を含む)を促すものです。例えば  は「感電注意」を示しています。
	禁止行為を示すものです。例えば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示したりするものです。例えば  は「プラグを抜くこと」を示しています。

 警告	
本機は日本国内専用です。交流100V、50Hz・60Hzの電源でご使用ください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。交流200V系の電源でご使用になられる場合は、当社営業窓口にご相談ください。	
電源コードを傷つけないでください。電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったりしないで下さい。また、熱器具に近づけたり加熱したりしないで下さい。火災や感電の原因となる場合があります。万一電源コードが傷んだら、当社サービス窓口へ修理をご依頼ください。	
内部に水や異物を入れないでください。火災や感電の原因となる場合があります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、当社サービス窓口にご相談ください。	
本機から煙や異音がでる、異臭がするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になる場合があります。異常が発生したら直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社サービス窓口にご相談ください。	
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となる場合があります。	
直射日光の当たる場所や、湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。上記のような場所に置くと、火災や感電の原因になることがあります。	
通風孔をふさがないでください。他の機器や壁、家具、ラック面との間にはすき間をあけてください。布などをかけたり、じゅうたんやふとんなど柔らかい物の上に置いたりして、通風孔をふさがないでください。放熱をよくするため、他の機器との間は少し離してください。ラックなどに入れる場合は本機とラック面、他の機器との間にすき間をあけてください。過熱して火災や感電の原因になる場合があります。	

 注意	
安定した場所に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、落下によりけがの原因になることがあります。	
長期間の使用において内部にほこりがたまると、火災や感電の原因となることがありますので定期的に内部の清掃をすることをお勧めします。当社サービス窓口にご相談ください。	
本機をご使用の際は、使用温湿度範囲をお守りください。保存される場合は保存温湿度範囲を守って保存してください。	
電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持って行ってください。電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずに、プラグの部分を持って抜き差ししてください。コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。	
濡れた手で電源プラグにさわらないでください。 感電の原因になることがあります。	
定期的に電源プラグのチェックをしてください。 電源コンセントにプラグを長期間差し込んだままにしておくと、その間にほこりやゴミがたまります。さらに空気中の水分などを吸湿すると、電気が流れやすくなるため（トラッキング現象）プラグやコンセントが炭化し、ときには発火の原因になることがあります。事故を防ぐため定期的に電源プラグがしっかりささっているか、ほこりがついていないかなどを点検してください。	
移動させるとき、長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因になることがあります。	
お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。	
万一、強制空冷用電動ファンが停止した場合は、直ちに使用を止め、当社のサービスを受けてください。内部が異常加熱し故障や火災の原因となる場合があります。	
分解、改造などをしないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検や修理は当社のサービス窓口にご依頼ください。	

正常な使用状態で本機に故障が発生した場合は、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。但し、本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因により通信、録画、再生などにおいて利用の機会を逸したために生じた損害などの付随的損失の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目 次

安全にお使いいただくために（必ずお読みください！）	1
UC-XP1 の特長	4
1. ファーストセットアップ（必ずお読みください！）	5
1-1. UC-XP1 とディスプレイ機器間の設定	5
1-2. 入力される NTSC 信号の画面アスペクトの設定	5
2. メニュー調整項目早見表	6
3. 前面パネルの説明	7
4. 背面パネルの説明	8
5. ラックマウントについて	9
6. 基本操作方法	9
6-1. 操作方法について	10
6-2. 内蔵テストパターンの出力方法	10
6-3. VIDEO / S-VIDEO 入力信号切替え方法	10
6-4. 出力映像信号形式（出力解像度）の切替え方法	11
6-5. 出力同期信号形式の切替え方法	12
6-6. キーロック機能	12
7. 応用操作方法	13
7-1. 画質の調整（各種映像プロセス調整）	13
7-2. ノイズリダクション機能	13
7-3. 入力信号の切出しオーバースキャン表示	14
7-4. 入力信号のアスペクト変換（ID-1 とリサイズ）	14
7-5. 水平垂直表示位置のオフセット機能	16
7-6. 出力映像へのボーダー付加機能	16
7-7. 出力映像ミュート機能	17
7-8. シームレス動作機能	17
7-9. 自動パワーセーブ動作	18
8. 自動記憶されるメモリーの内容について	18
8-1. バックアップメモリーを工場出荷状態に戻す方法	18
9. 主な仕様	19
10. トラブルシュート	20

UC-XP1 の特長

UC-XP1は、NTSCビデオ信号をパソコン用のXGA, SVGA, VGAの各信号に高品位高解像度で変換するアップコンバータです。新世代プログレッシブエンジンの搭載により、極めて自然な動画で変換します。また、D2端子の480p(525p)色差信号を出力することも可能です。入出力画面サイズの4:3, 16:9のどちらにも対応可能です。

主な特長

- 新世代 10 ビット 3 次元 YC 分離回路、新世代動き適応型プログレッシブ変換処理、フルデジタルクロマデコーダ、各種フルデジタルプロセス調整機能などの搭載により、優れた映像品質で信号変換します。
- アナログ映像信号(RGBHV)と、デジタル DVI-D 規格の映像信号を同時出力します。
- 出力垂直周波数(リフレッシュレート)を NTSC 信号規格と同じ 59.94Hz で映像処理することにより、動画像の映像パッシングによるコマ跳び現象を極限まで低減し、スムーズな動きで映像表示されます。
- VGA, SVGA, XGA の VESA 規格準拠の映像解像度のほか、480p(525p)色差信号出力(D 2 映像互換)も出力可能です。入出力画面アスペクトは 16:9 と 4:3 の両方に対応しており、各解像度に於いてリアルピクセル処理を採用しています。
- 入力映像信号の TBC 機能を装備しており、民生 VTR などの映像信号を直接入力可能です。また、TV ゲームの信号、民生 VTR のトリックプレイなどの不安定な信号でも、通常のテレビとほぼ同等の同期安定性を保持しています。
- システム調整に適したディスプレイ機器調整用の複合テストパターンを装備しており、UC-XP1 の出力映像を最高の状態かつ簡単にシステムセットアップできます。
- 入力信号のビデオ ID-1 システムに対応しており、DVD や DVC などの再生映像を自動的にアスペクト変換できます。また、手動により強制的にアスペクト変更も可能です。
- 出力映像に上下 1 ライン分のボーダーを付加でき、画面サイズを常時自動調整するタイプのプロジェクターなどへも安心して映像出力できます。(プロジェクター側の誤動作を回避できます)
- システム構成に於いて、UC-XP1 の入力部に NTSC 映像スイッチャーなどが挿入されたとき、スイッチャーの映像切替えに対してほとんどの場合擬似シームレス処理するモードがあります。これにより、出力映像にほとんどの場合ノイズが乗らずスムーズに映像が切替ります。
- 1U ハーフサイズ・奥行 300mm 最大消費電力 15W の小型低消費電力型です。また、入力信号が無い状態が約 1 分続くと自動的に低消費電力モードに切替えることができます。このとき、ディスプレイ側もパワーセーブ動作に誘導可能です。

※ 19 インチ EIA ラックマウントには、別売 MK-100 が必要です。1 台の MK-100 で UC-XP1 を 1 台または 2 台の実装が可能です。

同 梱 品	
取扱説明書	1 部 (本書)
保証書	1 部
電源コード (2P-3S)	1 本

万一、不足している物がある場合は直ちに弊社営業所までご連絡ください。

1. ファーストセットアップ（必ずお読みください！）

必要な性能を得るには、少なくとも次の項目にご注意ください。

1-1. UC-XP1 とディスプレイ機器間の設定

UC-XP1 の出力する映像の画面サイズ・位置・解像度と、ディスプレイ機器（プロジェクターや各種ディスプレイ）の表示位置を予め設定しておく必要があります。この設定を正しく行わないと、表示される映像の位置がズレたり、画面アスペクトの誤った表示（縦伸びや横伸び映像）、解像度の極端な低下原因になる場合があります。

この調整は次の手順で行います。

1-1-1. UC-XP1 の出力信号形式・アスペクト・同期信号形式を、ディスプレイ機器の仕様に合わせる

ディスプレイ機器には通常、リアル解像度と呼ばれる表示画素数(ex. 1,024 x 768 など)と、画面のアスペクト比(16:9 または 4:3 など)があります。UC-XP1 の出力解像度と画面アスペクトをディスプレイ機器の仕様に合わせます。例えば、ディスプレイ機器が 1,024 x 768 (XGA)で画面アスペクトが 16:9 のプラズマディスプレイの場合は、UC-XP1 の出力信号設定を、『OUTPUT XGA 16:9』にセットします。このとき、プラズマディスプレイの表示方式を『全画面表示』や『フル表示』と言った全エリア表示になるようにセットしてください。

また、通常多くのディスプレイ機器は、HD/VD セパレート同期（シンク）で動作しますが、CS（コンポジットシンク）や SOG（シンクオングリーン）でないと動作しない場合もあります。

UC-XP1 の出力映像信号形式と出力同期信号形式については、『6-4. 出力映像信号形式（出力解像度）の切替え方法』と『6-5. 出力同期信号形式の切替え方法』参照ください。

1-1-2. UC-XP1 の複合テストパターン出力で、ディスプレイ側が良好表示となるように調整する

通常ディスプレイ機器にはオートセットアップ機能が装備されています。UC-XP1 からテストパターンを出力させ、ディスプレイ機器のオートセットアップを実行します。その後必要に応じてディスプレイ機器側の微調整を行います。特に調整のクロック／フェーズ調整がズレていると、画面に縞が見えたり解像度が低下する場合があります。また、テストパターンの階段波形(10 STEP)を参考に、白レベルと黒レベルが共に再現されているかを確認し、必要ならばディスプレイ機器側の、明るさ・コントラスト・黒レベルなどの調整を行います。

UC-XP1 の複合テストパターン出力方法については『6-2. 内蔵テストパターンの出力方法』を参照ください。

1-1-3. UC-XP1 を複合テストパターン出力から入力素材（VIDEO / S-VIDEO）に切替えて完了

必要に応じて、UC-XP1 側の画質調整機能（各種プロセス調整）等をご利用ください。

1-2. 入力される NTSC 信号の画面アスペクトの設定

UC-XP1 はビデオ ID-1 システムに対応しており、通常自動的に入力画面のアスペクト情報を取得し、これに合わせた最適な処理を実行します。（DVD や DVC 再生、デジタル放送受信時など）

この処理方法は幾つかの表示方法（リサイズ方法）を指定できます。詳しくは、『7-4. 入力信号のアスペクト変換（ID-1 とリサイズ）』を参照ください。

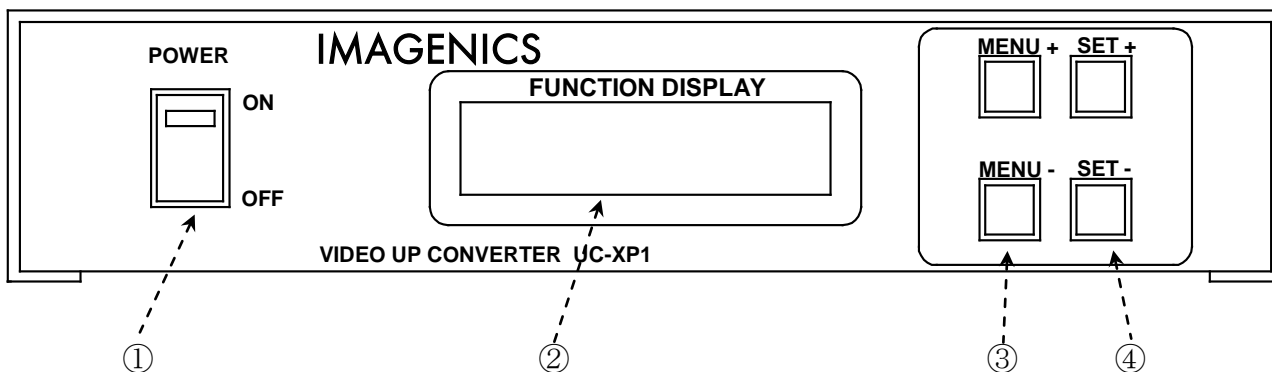
NTSC 信号を出力する機器によっては、このビデオ ID-1 システムを採用していない機器もあります。この場合は入力信号のアスペクトを、UC-XP1 側で手動設定する必要があります。UC-XP1 は初期設定として、ビデオ ID-1 信号が無い場合 4:3 の入力信号アスペクトとして処理します。もし、入力信号が 16:9 アスペクトの場合は、手動で 16:9 に切替えて使用します。

2. メニュー調整項目早見表

メニューは全部で 20 項目あります。各項目を MENU+(-)スイッチで表示させ SET+(-)スイッチで設定します。また、SET+(-)スイッチを 2 重押ししながら電源投入し、液晶表示の指示に従って操作することにより、全てのメモリー情報を工場出荷設定値に戻すことができます。(メモリークリア操作)

MENU NO.	調整項目	工場出荷設定値 (メモリークリア時)	備 考
1/20	INPUT. SEL	VIDEO	入力信号、S-VIDEO / VIDEO / TEST.P(複合テストパターン)の選択。
2/20	CONTRAST	0 %	コントラストレベルの調整。(画面全体の明るさ)
3/20	BRIGHT	0.0 %	黒レベルの調整。(白レベルを固定したまま、黒レベルのみ可変)
4/20	COLOR	0 %	色の濃さ調整。(モノクロまで可)
5/20	HUE	0 deg	色合い調整。
6/20	ENHANCE	0 Step	エンハンサーの効き具合調整。(±3ステップ)
7/20	GAMMA	1.00	ガンマ値の変更。(ガンマ値 1.00 は通常のリニア特性)
8/20	SUB-TINT	0 deg	肌色補正用色合い調整(肌色付近のみの HUE 調整に相当)
9/20	3D. NR	OFF	3次元ノイズリダクション。(LOW / HIGH / OFF) 元々S/Nの良い入力信号で LOW/HIGH を使用すると、解像度劣化する場合があります。 民生 VTR では LOW 設定で使用すると、S/N が向上します。
10/20	OVER. SCAN	+5 %	入力信号の切り出しオーバースキャン設定。(通常+5~+7%程度) 0%に設定するとフルスキャンになります。この場合、入力映像によっては、上下左右に黒ブランキングが見える場合があります。
11/20	INPUT. ASP	AUTO	入力信号の画面アスペクトの設定。 AUTO : 入力 ID-1 信号に従う、ID-1 無しでは 4:3 として処理。 16:9 : 強制的に 16:9 入力映像(スクイーズ映像)として処理。 4:3 : 強制的に 4:3 入力映像として処理。 L-BOX: 強制的にレターボックス入力映像として処理。
12/20	OUTPUT	XGA 4:3	出力解像度と出力画面アスペクトの設定。 XGA, SVGA, VGA, D2(480p)の各解像度に対して、4:3 と 16:9 の画面アスペクトを設定可能です。
13/20	OUT. SYNC	HD/VD	出力同期信号方式設定。 HD/VD, CS/VD, SOG/CS から選択可能。(SOG : SYNC ON GREEN)
14/20	RE-SIZE →	L-BOX (出力 4:3 時) CENT (出力 16:9 時)	リサイズ条件設定。 入出力間で画面アスペクトが異なる場合(ex. 16:9 入力の 4:3 出力表示など)に、どのように出力表示させるか設定します。 4:3 出力で使用時(16:9 映像入力のリサイズ表示方法)は、 L-BOX(上下ブランク), 4:3(切出し), 13:9(切出し), FULL(縦長全出力)から選択。 16:9 出力で使用時(4:3 映像入力のリサイズ表示方法) CENT(両横ブランク), FULL(横長全出力), PANO(非線形パノラマ), 16:9(中央切出し)から選択。
15/20	OUT. H-SHIFT	0	出力映像の左右 1 画素ずつの水平シフト。 (システム対応用、通常は 0 で使用)
16/20	OUT. V-SHIFT	0	出力映像の上下 1 画素ずつの垂直シフト。 (システム対応用、通常は 0 で使用)
17/20	BORDER	OFF	出力映像の上下 1 ライン分を、ボーダーレベルに挿げ替え。 ボーダーレベルを+1%~+100%白色で設定可能。 なお、L-BOX 表示などでのブランク部分(無映像部分)もこのボーダーレベルに挿げ替えられます。
18/20	MUTE. COLOR	BLACK	入力無信号時のミュート色の設定 BLACK / BLUE から選択。
19/20	SEAMLESS	OFF	シームレス動作モードの設定。 ON に設定すると、UC-XP1 の前段に接続される NTSC スイッチャーの切り替えノイズを、擬似シームレス処理により緩和します。 なお副作用として、品質の悪い入力信号や民生 VTR のトリックプレイなどでは、出力映像が常時フリーズする場合があります。
20/20	POWER. SAVE	ON	ON に設定されていると、入力信号が無くなってから約 1 分でパワーセーブ動作に移ります。このとき、出力映像は全て OFF されるので、ディスプレイ機器側もパワーセーブにできます。

3. 前面パネルの説明



① 電源スイッチ (POWER)

電源スイッチです。スイッチをON側にするると緑色の電源表示ランプが点灯して電源が入ります。UC-XP1 がパワーセーブ動作に入っても、緑色の電源表示ランプは点灯しています。

② 液晶機能表示 (FUNCTION DISPLAY)

UC-XP1 の動作状況や、現在調整可能な項目と設定値がこの液晶表示に表示されます。

表示画面はステータス表示のほか、調整できる項目は全部で 20 画面あります。

調整時は、調整値部分の表示が点滅します。通常動作時はバックライトが点灯しますが、UC-XP1 がパワーセーブ動作に入った場合は、バックライトは消灯します。

(バックライトが消灯しても液晶表示内容は表示されます)

③ メニュースイッチ (MENU+, MENU-)

調整する項目を選択します。メニュースイッチは、各調整メニュー操作中スイッチが点灯します。

また、MENU+と MENU-スイッチの両方を同時に長押しすると、キーロック機能への出入りが可能です。

スイッチは、MENU+と MENU-の 2 重押しによりステータス表示に戻ることができ、また押し続けにより自動送りも可能です。

④ セットスイッチ (SET+, SET-)

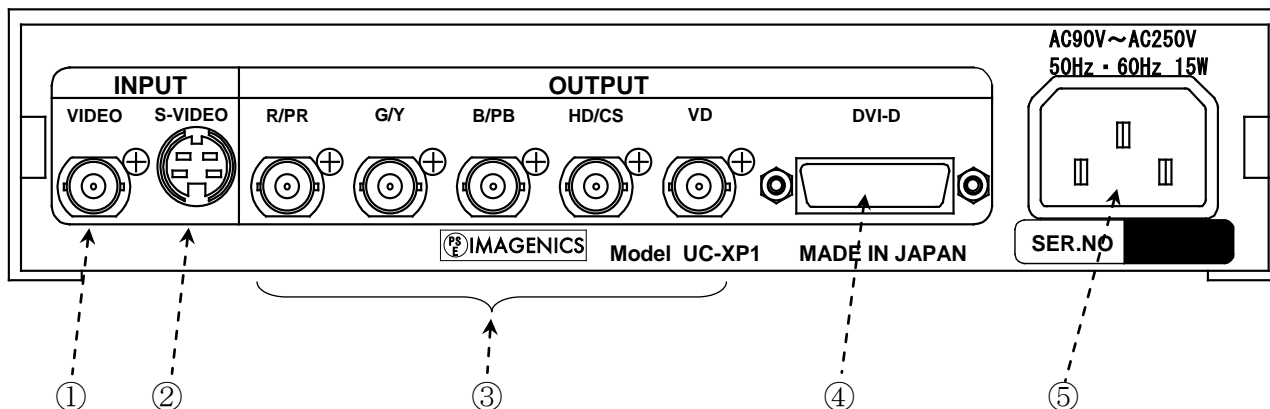
現在表示されている項目について、SET+, SET-スイッチを使用して調整します。

調整の操作中はスイッチが点灯(点滅)します。

スイッチは押し続けにより自動送りも可能な場合があります。

また、UC-XP1 の設定条件により、調整できないメニュー項目の場合、スイッチは消灯します。通常、SET+と SET-スイッチを 2 重押しすることにより、現在の調整項目の初期値に戻すことができます。

4. 背面パネルの説明



① ビデオ信号入力 (VIDEO 75Ω BNC)

NTSC規格のコンポジットビデオ信号の入力端子です。

②のS端子ビデオ信号入力とは、メニュー設定にて切替えて使用します。

UC-XP1にはTBC機能が装備されているので、民生VTR機器なども直接接続可能です。

② S端子ビデオ信号入力 (S-VIDEO 75Ω S端子)

NTSC規格のS端子ビデオ信号の入力端子です。

①のコンポジットビデオ信号入力とは、メニュー設定にて切替えて使用します。

コンポジットビデオ信号入力同様、TBC機能が装備されているので、民生VTR機器なども直接接続可能です。①と②の端子は同時に異なった入力信号を接続されても問題ありません。

③ 映像出力信号 (R/PR G/Y B/PB 各 75Ω BNCx3 HD/CS VD 各 TTL BNCx2)

UC-XP1にて、パソコン用解像度の映像信号に変換されたアナログRGB映像信号出力です。

通常5本のBNC同軸ケーブルにてディスプレイ機器へ接続します。また、UC-XP1を480p(525p)信号出力で動作させている場合は、R/PR, G/Y, B/PBの3本のみ、BNC同軸ケーブルでディスプレイ機器に接続します。UC-XP1の出力する同期信号形式は、CS同期信号やシンクオングリーン同期信号を切替えて出力することも可能です。詳しくは、『6-5.出力同期信号形式の切替え方法』を参照ください。

④ DVI-D映像出力 (DVI-D24端子)

UC-XP1にて、パソコン用解像度の映像信号に変換されたデジタル映像出力です。

③と同一解像度の映像信号で、DVI規格準拠で出力されます。なお、DVI信号は通常10m程度までしか伸ばす事ができません。また、ご使用になるDVI-Dケーブルの品質および、ディスプレイ機器側の受信性能によっては、さらに短くなる場合があります。

⑤ 電源入力コネクタ (AC 90V ~ AC 250V 3端子(アース付き)仕様)

付属の電源コードを使用して、UC-XP1へ電源供給します。



AC200V系の電源で使用される場合は、電源コードを必ずAC200V用に変更してください。

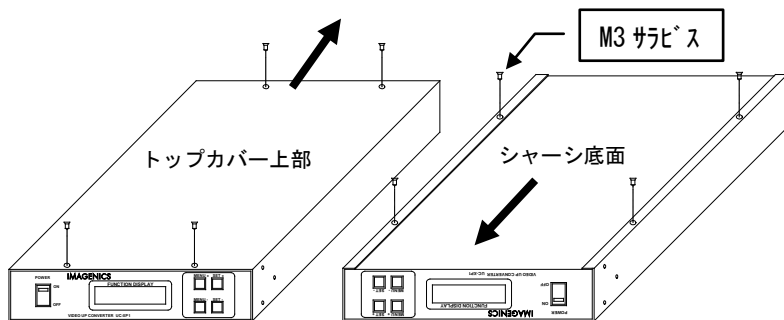
詳しくは弊社営業窓口にご相談ください。

5. ラックマウントについて

UC-XP1 は別売の MK-100 ラックマウントキットを使用して、19 インチ EIA ラックに 1 台または 2 台の実装が可能です。UC-XP1 は自然空冷方式ですので、ラック実装時には放熱と、外部から熱を受けないように注意願います。また、2 台の実装を行うには、UC-XP1 のトップカバー同士を予め MK-100 付属のビスで連結しておく必要があります。このとき、UC-XP1 のトップカバーを下図の要領で一旦はずします。MK-100 の取扱説明書もお読みください。



感電防止のため、必ず AC コードを抜き取ってから作業願います。また内部は静電気に弱い精密機器のため、内部には不用意に触れないよう注意願います。



トップカバーとシャーシを分離するには、まず、トップカバーの上部・下部合計 8 本の M3-サラビスを取り外し、左図のようにシャーシ部を手前へ、トップカバーを背面側にスライドさせて分離します。

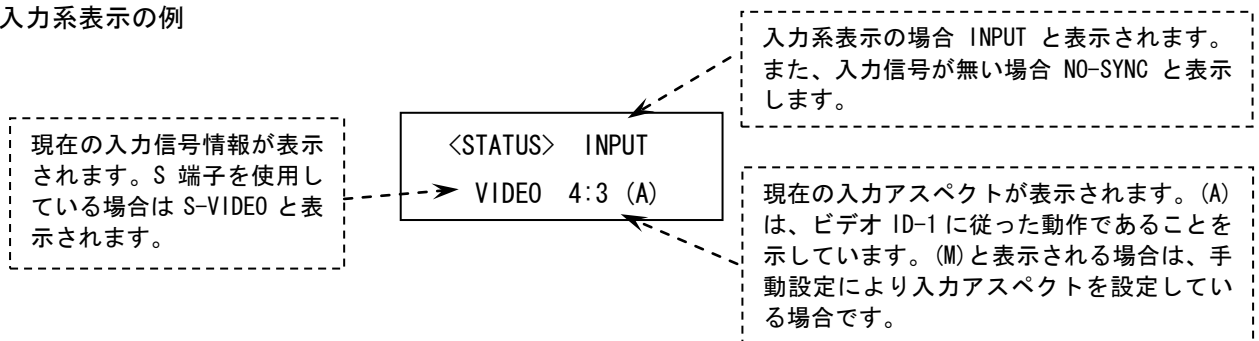
6. 基本操作方法

UC-XP1 は電源を投入すると直ちに動作を開始します。必要な入出力信号を接続してご使用ください。

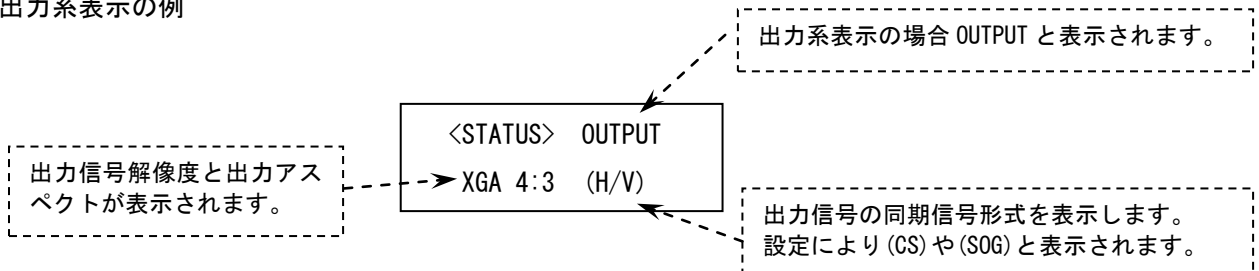
通常、UC-XP1 が正しく動作している場合には、次のような液晶表示となります。

この表示をステータス表示と言います。ステータス表示は、MENU+、-スイッチを 2 重押しするか、他の表示から一定の時間放置すると自動的に戻ります。ステータス表示は入力系表示と出力系表示の 2 画面があり、約 2 秒周期で交互に表示されます。

入力系表示の例



出力系表示の例



6-1. 操作方法について

UC-XP1 の操作には、幾つかの決まった操作上の約束事があります。

1. SET+と SET-などの反対機能のスイッチを同時に押すと、現在の項目の初期値にもどす事ができます。
(通常の初期値はゼロです)
2. MENU+と MENU-スイッチを同時に長押しすると、キーロック状態への設定・解除ができます。
3. MEMU+, MENU-, SET+, SET-の各スイッチは、押し続けにより自動送り可能です。
(一部の設定項目では自動送りしない場合もあります)
4. UC-XP1 を調整中、液晶表示の設定値は変化しても、実際の出力映像には反映されない場合があります。これは、ハード上のリミットによるもので特定の条件下で発生します。
5. 調整した内容は、自動的に UC-XP1 内部の不揮発性メモリーにバックアップしています。従って、メモリーへの直接的な登録操作は必要ありません。

6-2. 内蔵テストパターンの出力方法

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 1/20 ページ INPUT. SEL を表示します。SET+(-)スイッチを押して、TEST. P を選択します。

〈MENU〉 1/20 INPUT. SEL TEST. P

工場出荷設定時は VIDEO です。必要に応じて切替えて使用できます。

内蔵テストパターンは、UC-XP1 に入力信号を与えなくても出力することができます。

このテストパターンは、ディスプレイの調整に適した複合テストパターン（クロスハッチ・カラーバー・グレースケール・10 ステップ階段波で構成）です。なお、出力信号形式に 480p 信号（D 2 互換ビデオ信号）を選択してる場合は、75%カラーバー信号となります。

テストパターンは、アナログ／デジタルの両方から出力されます。

6-3. VIDEO / S-VIDEO 入力信号切替え方法

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 1/20 ページ INPUT. SEL を表示します。SET+(-)スイッチを押して、VIDEO または S-VIDEO を選択します。

〈MENU〉 1/20 INPUT. SEL VIDEO

工場出荷設定時は VIDEO です。必要に応じて切替えて使用できます。

UC-XP1 本体の、VIDEO と S-VIDEO 端子は、常時両方に信号が供給されていても構いません。

この切替え設定により、設定された信号のみ使用されます。

6-4. 出力映像信号形式（出力解像度）の切替え方法

MENU+(-)スイッチを押して、<MENU> 12/20 ページ OUTPUT を表示します。SET+(-)スイッチを押して、XGA 4:3 , SVGA 4:3 , VGA 4:3 , XGA 16:9 , SVGA 16:9 , VGA 16:9 , 480p 4:3 , 480p 16:9 から選択します。

<MENU> 12/20
OUTPUT XGA 4:3

工場出荷設定時は XGA 4:3 です。必要に応じて切替えて使用できます。

※ 設定する信号形式は、ご使用になるディスプレイ機器の仕様に合わせてください。

UC-XP1 の出力する各解像度の仕様詳細は、下表を参照ください。なお、UC-XP1 のアスペクト設定が 4:3 または 16:9 のどちらの場合でも下表のタイミングで信号を発生します。

出力解像度	有効画面数(pix x line)	総サンプル(pix x line)	備 考
XGA	1,024 x 768	1,344 x 806	VESA XGA@60 準拠
SVGA	800 x 600	1,056 x 628	VESA SVGA@60 準拠
VGA	640 x 480	800 x 525	VESA VGA@60 準拠
480p(525P)	720 x 480	858 x 525	NTSC D2 映像規格準拠 (色差信号)

もし、ご使用になるディスプレイ機器と UC-XP1 の出力する解像度の仕様が完全に合わない場合は、UC-XP1 の出力解像度を、ディスプレイ機器のリアルピクセルと UC-XP1 の有効画面数をできるだけ近い値となる出力解像度を選択してください。

UC-XP1 の出力画面のアスペクトは、ご使用になるディスプレイ機器のアスペクト(16:9 または 4:3)と同じになるように UC-XP1 を設定してください。この設定が誤っていると、入力される信号のアスペクトがビデオ ID-1 信号の指示により変化したとき、出力側で縦または横に縮んだ映像になる場合があります。

16:9 アスペクトタイプのディスプレイ機器をご使用になる場合は、ディスプレイ機器側の表示アスペクトの設定を『フル表示』または『全画面表示』などの設定に固定してください。これは、UC-XP1 側とディスプレイ側の両方でアスペクト調整が働くのを防止するためです。

基本的に、アスペクト調整は UC-XP1 に任せ、ディスプレイ側では常時全画面表示固定で表示する方法が、最も効率的に映像を表示させることができ、アスペクト変更処理の副作用として発生する解像度の低下等を最小限に抑えることができます。

6-5. 出力同期信号形式の切替え方法

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 13/20 ページ OUT. SYNC を表示します。SET+(-)スイッチを押して、HD/VD , CS/VD , SOG/CS から選択します。

〈MENU〉 13/20
 OUT. SYNC HD/VD

工場出荷設定時は HD/VD です。ご使用になるディスプレイ機器の仕様に応じて切替えて使用できます。

UC-XP1 の設定	説 明
HD/VD	UC-XP1 本体の HD 端子から HD (水平ドライブ) 信号が、VD 端子から VD (垂直ドライブ) 信号が出力されます。この信号形式は、通常のパソコン信号と同じです。
CS/VD	UC-XP1 本体の HD 端子から、CS (コンポジットシンク) 信号が、VD 端子から VD 信号が出力されます。ディスプレイ側の同期信号が CS 信号入力に対応している場合は、VD 信号を未接続 (省略) にして、R, G, B, CS の合計 4 本の同軸ケーブルで配線することが可能です。 なお、ディスプレイ機器によっては、CS 信号と VD 信号を同時に入力すると、正常に動作できない機器がありますのでご注意ください。
SOG/CS	UC-XP1 本体の G 出力信号 (緑色出力) にコンポジットシンク信号を加算して出力します。ディスプレイ機器側が、シンクオングリーン (G オンシンク) に対応している場合は、HD/VD 各信号を未接続 (省略) にして合計 3 本の同軸ケーブルで配線することができます。 UC-XP1 本体の HD 端子からは CS 信号が、VD 端子からは VD 信号が同時に出力されます。通常これらの信号は使用しません。ディスプレイ機器によっては、これらの信号を同時に入力すると正常に動作できない機器がありますのでご注意ください。

UC-XP1 の出力映像信号形式の設定が 480p 信号 (D 2 互換信号) を選択している場合、液晶表示には、

〈MENU〉 13/20
 OUT. SYNC Ys CS/V

と表示されます。この場合設定の変更はできません。ディスプレイ機器へは、R/PR, G/Y, B/PB の 3 本のみ接続してください。なお、このとき HD 端子には CS 信号が、VD 端子には VD 信号がそれぞれ出力されています。

6-6. キーロック機能

MENU+ と MENU- のスイッチを同時に長押しすると、キーロック状態を設定・解除できます。キーロック中は、電源スイッチ以外の全ての本体オペレーションを禁止します。

KEY LOCK



キーロック状態は電源 ON/OFF でもバックアップしています。

7. 応用操作方法

UC-XP1 には、『6. 基本操作方法』で説明した以外にも多くの機能があります。
必要に応じて個別調整することにより、さらに高いパフォーマンスが期待できます。

7-1. 画質の調整（各種映像プロセス調整）

UC-XP1 には、画質を調整するための機能が豊富にあります。これらの機能は全てフルデジタルプロセスによって処理されており、非常に安定かつ高精度です。

画質調整できる項目は、〈MENU〉 2/20 から 8/20 ページの項目です。

各調整は、MENU スイッチを押して各ページを表示させ、SET+(-) スイッチで調整します。

調整項目	MENU ページ	調整内容
CONTRAST	2/20	輝度信号レベル（白レベル）の調整です。-50%～+50%まで調整可能です。
BRIGHT	3/20	黒レベルの調整です。-25%～+25%まで調整可能です。 BRIGHT 調整は、白レベルの変化を抑えて黒レベルのみ可変します。
COLOR	4/20	色の濃さの調整です。モノクロ～+50%まで調整可能です。
HUE	5/20	色合いの調整です。色ベクトル位相を-45deg～+45deg まで調整可能です。
ENHANCE	6/20	エンハンサー機能の調整です。-3step～+3step まで調整可能です。 UC-XP1 のエンハンサーは、ノイズレベルを抑えて映像の水平垂直輪郭補正を行います。
GAMMA	7/20	輝度中間調の非線形調整です。ガンマカーブを±7段階調整可能です。 調整は 0.45 から 2.00 までで、設定 1:00 はガンマ OFF と同じ意味です。
SUB-TINT	8/20	肌色付近の色合い調整です。肌色付近の色ベクトル位相のみを-20deg～+20deg まで調整可能です。 色温度が 9,300 度程度に設定された表示機器では、+10deg ぐらいに設定すると青や緑の色合いをあまり変化させる事無く、肌色を自然に近づける効果があります。

各調整項目を、必要以上に過大な設定にすると、著しく画質が劣化する場合がありますのでご注意ください。

7-2. ノイズリダクション機能

UC-XP1 には 3次元動き適応型のノイズリダクション機能が搭載されています。ノイズリダクション機能は、入力映像信号に乗って来るランダムなノイズに対して有効です。特に民生 VTR の再生信号などでは効力を発揮します。しかし、元々ノイズの少ない映像では、かえってボケなどを発生させる場合があります。通常、DVD 再生やデジタル放送等では元々の信号の S/N 比が良いので、ノイズリダクション機能を使用しない(OFF)の方が良い場合もあります。

MENU+(-) スイッチを押して、〈MENU〉 9/20 ページ 3D. NR を表示します。SET+(-) スイッチを押して、OFF , LOW , HIGH を設定します。

〈MENU〉 9/20
3D. NR OFF

工場出荷設定時は OFF です。

LOW の設定で 3次元動き適応型ノイズリダクションが動作します。HIGH の設定では、さらに強力にノイズを低減しようとしませんが、出力映像信号がボケやすくなります。

7-3. 入力信号の切出しオーバースキャン表示

通常のテレビなどでは、入力信号の全てのエリアを表示するわけでは無く、通常は水平垂直共に 5%~7% 程度引き伸ばした状態で表示させるのが一般的です。この表示方法をオーバースキャン表示と言います。また、多くのビデオ信号では、編集作業などで発生した誤差により、実際の有効映像領域がやや小さくなっています。オーバースキャン表示は、この誤差を吸収することができ、出力映像の上下左右にブランキング（黒帯）が表示されるのを防止できます。

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 10/20 ページ OVER. SCAN を表示します。SET+(-)スイッチを押して、0%~+10%の間で設定します。

〈MENU〉 10/20
OVER. SCAN +5 %

工場出荷設定時は+5%です。この設定は民生テレビのオーバースキャンサイズとほぼ同じです。設定値を 0%に設定すると、完全なフルスキャンとなりますが、この状態では入力される信号の質により、上下または左右にブランキング（黒帯）が見える場合があります。

7-4. 入力信号のアスペクト変換（ID-1 とリサイズ）

UC-XP1 は、ビデオ ID-1 システムに対応しており、通常入力信号のアスペクト（4:3 , 16:9 , LETTER_BOX）を自動的に認識し、それに応じた処理を行います。

また、入力信号アスペクトと出力映像を表示させるディスプレイ機器のアスペクトが違う場合、ディスプレイ機器にどのように表示させるか（リサイズするか）を予め設定しておくことができます。

7-4-1. ビデオ ID-1 システムの有効・無効設定

通常はビデオ ID-1 システムを有効(AUTO)で使用しますが、必要に応じて入力信号のアスペクトを強制的に設定することができます。

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 11/20 ページ INPUT. ASP を表示します。SET+(-)スイッチを押して、AUTO , 16:9 , 4:3 , L-BOX（レターボックス）から選択します。

〈MENU〉 11/20
INPUT. ASP AUTO

工場出荷設定時は AUTO です。

AUTO の設定の場合のみ、入力信号のビデオ ID-1 システムを有効にします。また、ID-1 認識信号が無い場合は 4:3 として動作します。

その他の設定にすることにより、強制的に入力信号アスペクトを設定できます。

7-4-2. 入出力間でアスペクトが違う場合の処理方法の設定

入力信号アスペクトが 16:9 (DVD 映画再生のスクイーズ方式等) で、ディスプレイ機器のアスペクトが 4:3 などの場合、正常な映像をディスプレイに映すには幾つかの方法でアスペクト変換する必要があります。

UC-XP1 はこの場合、L-BOX , 4:3 切出し , 13:9 切出し , FULL などの表示方法から、予め選んで設定しておくことができます。これにより入出力間でアスペクトの違いが生じた場合、自動的に設定されている表示方法にて変換します。

ディスプレイ機器のアスペクト (UC-XP1 の出力形式の設定値) により、変換できる処理方法は違います。

7-4-2-1. ディスプレイ機器が4:3アスペクトの場合 (UC-XP1の設定を各解像度の4:3に設定時)

MENU+(-)スイッチを押して、<MENU> 14/20 ページ RE-SIZE -> を表示します。SET+(-)スイッチを押して、L-BOX , 4:3 , 13:9 ,FULL から選択します。

<MENU> 14/20
 RE-SIZE -> L-BOX

工場出荷設定時は L-BOX です。

7-4-2-2. ディスプレイ機器が16:9アスペクトの場合 (UC-XP1の設定を各解像度の16:9に設定時)

MENU+(-)スイッチを押して、<MENU> 14/20 ページ RE-SIZE -> を表示します。SET+(-)スイッチを押して、CENT , FULL , PANO , 16:9 から選択します。

<MENU> 14/20
 RE-SIZE -> CENT

工場出荷設定時は CENT です。

L-BOX, CENT, PANO など各設定時の実際の表示方法は、下表のようになります。

4:3 アスペクトのディスプレイ機器を使用している場合の、16:9 アスペクト入力信号処理	
L-BOX	4:3 出力画面内の、上下部分をブランキング処理として、入力の 16:9 映像を表示します。レターボックス表示と言います。
4:3	16:9 入力映像の、センター付近を 4:3 のアスペクトで切出して表示します。入力映像の左右部分の一部は表示されません。4:3 切出し表示と言います。
13:9	16:9 入力映像の、横方向 13/16 を切出して表示します。このとき、上下に若干のブランキングができるかわりに、4:3 切出し表示より左右部分が多く表示されます。13:9 切出しまたは 13:9 レターボックス表示と言います。
FULL	16:9 入力映像全体を 4:3 出力画面内に表示します。この表示方法ではアスペクトが合わないため、縦に伸びたような表示になります。

16:9 アスペクトのディスプレイ機器を使用している場合の、4:3 アスペクト入力信号処理	
CENT	16:9 出力画面内の、左右部分をブランキング処理として、入力の 4:3 映像を表示します。センター表示と言います。
FULL	4:3 入力映像全体を、16:9 出力画面内に表示します。この表示方法ではアスペクトが合わないため、横に伸びたような表示になります。
PANO	4:3 入力映像を、水平方向のみ非線形処理で引き伸ばし、16:9 出力画面全体に表示させます。画面中心部分の真円率をある程度保持したまま、画面端部分を非線形的に引き伸ばします。FULL 表示より自然に見える場合があります。パノラマ表示と言います。
16:9	4:3 入力映像の、上下部分を切り取って、16:9 出力画面全体に表示させます。映像上下部分が一部見えなくなってしまう。16:9 切出し表示と言います。

7-5. 水平垂直表示位置のオフセット機能

UC-XP1 にはシステム対応用として、映像信号を上下左右にずらして表示させる機能があります。

通常はこの機能を使用する必要はありません。しかし、システムによっては、UC-XP1 の出力する解像度と同じ解像度のパソコン映像を、RGB スイッチャーで切替えてディスプレイ機器に表示させる場合があります。この場合、ディスプレイ機器側では解像度が同じため同じ信号として処理されますが、実際にはパソコン映像と UC-XP1 間で水平垂直位相にズレが生じている場合があります。（パソコン映像が VESA 規格に適合していない場合）

このズレを、UC-XP1 の水平垂直表示位置オフセット機能により吸収させることができます。

この作業を行う前に、まず、パソコン映像の信号で、ディスプレイ側を調整しておきます。
次に UC-XP1 の信号に切替えて、UC-XP1 の映像位置を調整します。

7-5-1. 水平方向の位置調整

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 15/20 ページ OUT. H-SHIFT を表示します。SET+(-)スイッチを押して、水平位置を調整します。

〈MENU〉 15/20 OUT. H-SHIFT 0

工場出荷設定時は 0 です。

7-5-2. 垂直方向の位置調整

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 16/20 ページ OUT. V-SHIFT を表示します。SET+(-)スイッチを押して、垂直位置を調整します。

〈MENU〉 16/20 OUT. V-SHIFT 0

工場出荷設定時は 0 です。

通常これらの設定値は、ゼロ (0) で使用します。また、この設定値を大きく動かすと、ディスプレイ機器によっては正常に映像表示しなくなる場合があります。

7-6. 出力映像へのボーダー付加機能

UC-XP1 にはディスプレイ機器への補助機能として、出力映像の上下 1 ライン分を強制的に白レベルに挿げ替える機能があります。この機能により、常時画面サイズ位置自動調整を行うタイプのディスプレイ機器の、表示映像が暗くなったときの誤動作を防止できます。また、このボーダーのレベル（明るさ）は+1%（黒）～+100%（白）の間で任意に設定することができます。

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 17/20 ページ BORDER を表示します。SET+(-)スイッチを押して、OFF , +1%～+100%間で設定します。

〈MENU〉 17/20 BORDER OFF

工場出荷設定時は OFF です。

OFF のときはボーダー付加しません。また、ここで設定されるボーダーレベルは、出力映像がレターボックス表示時などでの、ブランキング部分にも適応されます。

通常、+20%程度から+50%程度に設定することにより、ディスプレイ機器側の誤動作防止が期待できます。

7-7. 出力映像ミュート機能

UC-XP1 への入力信号が無くなったとき、出力画面をミュートします。このミュート色を、BLACK（黒）またはBLUE（青）から選択可能です。

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 18/20 ページ MUTE. COLOR を表示します。SET+(-)スイッチを押して、BLACK または BLUE を設定します。

〈MENU〉 18/20
MUTE. COLOR BLACK

工場出荷設定時は BLACK です。

7-8. シームレス動作機能

UC-XP1 へ映像信号入力する手前で、映像信号をスイッチャーなどにより切替えたときの、出力画面ノイズを緩和することができます。

通常、非同期の幾つかのビデオ信号を切替えて UC-XP1 に入力すると、映像信号が非同期のため一瞬同期が乱れ、出力画面のノイズとなって現れます。UC-XP1 のシームレス機能を ON することにより、映像のつなぎ目を一時的なフリーズ画面（切替え前の信号のフリーズ表示）で繋ぐことにより、映像切替えノイズを見ることなくブランキングスイッチャーのようにシームレスに切替ります。

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 19/20 ページ SEAMLESS を表示します。SET+(-)スイッチを押して、OFF または ON を設定します。

〈MENU〉 19/20
SEAMLESS OFF

工場出荷設定時は OFF です。

UC-XP1 のシームレス対応動作は、必ずしも 100%の期待度で動作できるものではありません。切替る複数の映像信号は互いに非同期（非ゲンロック状態）でも構いませんが、入力される信号の切替え条件・微妙なタイミング等により、ごくまれにノイズが見える場合もあります。実際に非同期の入力信号が切替ったときに発生するフリーズ時間（静止画を表示する時間）は、平均 0.2 秒程度です。この時間は、信号の品質にも影響される場合があります。

また、この機能を ON で使用することにより、品質の悪い映像や、一部の民生 VTR (VHS 方式など) の再生時に、時折出力画面がフリーズするなどの不具合が発生する場合があります。

7-9. 自動パワーセーブ動作

UC-XP1 は入力信号が無くなったとき、環境に配慮したパワーセーブ動作に切替ることができます。パワーセーブ動作では、UC-XP1 の本体消費電力を節約することはもちろん、接続されているディスプレイ機器もパワーセーブ動作に誘導します。（注：エナジースターなど、環境対応している機器の場合）また、システムにおいてパワーセーブ動作が不都合な場合は、機能 OFF に設定することも可能です。

MENU+(-)スイッチを押して、〈MENU〉 20/20 ページ POWER. SAVE を表示します。SET+(-)スイッチを押して、OFF または ON を設定します。

〈MENU〉 20/20
POWER. SAVE ON

工場出荷設定時は ON です。

ON の設定の場合、入力信号が約 30 秒間途切れるとパワーセーブ動作に入ります。このとき、UC-XP1 からの出力信号は全て停止し、フロントパネルも電源 SW の LED 以外は全て消灯します。但し、液晶表示にはパワーセーブ中である旨のメッセージが表示されます。（バックライトは消灯します）

入力信号が復帰するか、何らかの本体操作を行うと、自動的に通常動作に戻ります。

また、通常動作中でも、UC-XP1 への操作を行わない場合は、一定時間後自動的にバックライトを消灯し不要な電力の消費を抑えます。

OFF の設定の場合は、パワーセーブ動作には入らなくなります。バックライトも常時点灯となります。

8. 自動記憶されるメモリーの内容について

UC-XP1 は、バックアップメモリーへの記憶・再生を全て全自動で行います。従って、お客様からの直接的な操作は一切必要ありません。

お客様が本機に行った設定は、全て自動的にバックアップメモリーへ記憶されます。

8-1 バックアップメモリーを工場出荷状態に戻す方法

UC-XP1 を工場出荷状態（初期値）に戻すには、SET+と SET-スイッチを同時押ししながら電源をいれます。すると、次のようなメッセージを液晶に表示します。

MEMORY CLEAR ?
Yes=SET+ No=SET-

次に、SET+スイッチを押します。メッセージは次のように変わります。

（もし、処理を中断したい場合は SET-を押します）

MEMORY CLEAR OK!
Please SET- Push

今度は SET-スイッチを押します。メモリー初期化後、UC-XP1 が再起動します。

9. 主な仕様

入力信号部

- コンジットビデオ信号 : NTSC 規格準拠 標準・非標準信号 1.0 V(p-p) 75 Ω 1 系統(BNC x1)
 S 端子セパレートビデオ信号 : NTSC 規格準拠 標準・非標準信号 Y:1.0 V(p-p) C:0.286 V(p-p) 各 75 Ω 1 系統(S 端子 x1)
 ※ 民生 VTR などの非標準入力信号に対応しています。(TBC 機能装備)

出力信号部

- アナログ RGBHV 出力信号 : VESA 規格準拠 XGA, SVGA, VGA の各解像度から 1 解像度を選択、垂直周波数 59.94 Hz
 RGB 各 0.7 V(p-p) 各 75 Ω HD(CS)・VD 各 TTL レベル 1 系統(BNC x5)
 ※ CS 出力および、シンクオングリーン出力に対応可能です。
 ※ D2 端子の 480p(525p)信号出力に切替え可能です。

- デジタル DVI-D 出力信号 : VESA 規格準拠 XGA, SVGA, VGA の各解像度から 1 解像度を選択、垂直周波数 59.94 Hz
 TMDS 信号 24 ビットフルカラー DVI 1.0 規格準拠 1 系統(DVI-D24 x1)
 ※ アナログとデジタルは同じ解像度、信号方式で出力されます。両方を同時出力可能です。

- 入出力映像量子化 : 入力 10 ビット ADC ITU-R601 サンプル 出力 10 ビット DAC VESA 規格リアルサンプル
 水平垂直解像度(NTSC 換算) : 水平約 500TV 本 垂直約 480TV 本 (標準 NTSC 信号入力・XGA 出力の静止画時)
 入出力映像絶対遅延時間 : 50 ms ~ 66 ms (NTSC 入力信号の 1.5 フレーム ~ 2 フレーム間に相当)

その他付加機能 (搭載機能)

- 3次元動き適応型 10 ビット Y C 分離回路・3次元動き適応型ノイズリダクション搭載
 入力ビデオ信号タイムベースコレクタ(TBC 適応追い越し対応)機能・フルデジタルカラーデコーダ回路搭載
 4 フィールド動き適応型インタレース→プログレッシブ変換エンジン搭載 (フィルム系 3:2 プルダウン機能対応)
 FIR フィルタ相当補間型 解像度リサイズエンジン搭載 (可変オーバースキャン表示設定可能、非線形パノラマ表示にも対応)
 ノイズ抑圧型ビデオエンハンサ、ガンマ、コントラスト、ブライト、カラー、ヒューのフルデジタルプロセス調整機能搭載
 入力信号ビデオ I D-1 対応による自動画面アスペクト設定機能 (16:9, 4:3, L-BOX)・擬似シームレススイッチャー対応可能
 ディスプレイ調整用 内部発生デジタルテストパターン出力機能搭載(4:3、16:9、D2 別、オリジナル複合テストパターン)
 不揮発性メモリーへの自動バックアップ対応 (動作状態の自動保存・自動復元機能)
 出力映像へのボーダー付加および、出力映像の水平垂直表示位置オフセット機能搭載
 環境に配慮した自動パワーセーブ機能 (無信号入力時、接続ディスプレイ機器側もパワーセーブ機能へ誘導させます)

一般仕様

- 電源 : AC 90 V ~ AC 250 V 50 Hz , 60 Hz
 消費電力 : 15 W(最大) (自動パワーセーブ動作時、5 W 以下)
 質量 : 約 2.5 kg
 動作温度湿度 : 0 °C ~ 40 °C 20 %RH ~ 90 %RH (但し結露無いこと)
 保存温度湿度 : -20 °C ~ 70 °C 20 %RH ~ 90 %RH (但し結露無いこと)
 外形 : 幅 210 mm 高さ 44 mm 奥行 300 mm
 (突起物含まず。ラックマウントには別売 MK-100 が必要)
 付属品 : 電源コード (2P-3S 国内専用) 1 本

※ AC200V 系電源で使用時は電源コードの変更が必要です。

10. トラブルシュート

UC-XP1 が正常に動作しない（故障）と思われる場合、下表の点について今一度ご確認願います。

また、『8-1 バックアップメモリーを工場出荷状態に戻す方法』を参照の上、全てのメモリーデータを工場出荷状態に一旦戻すこともお勧めします。

これらをチェックしてもなおトラブルの場合は、弊社サービス窓口にご相談ください。

問題・症状	想定される原因	確認・対処・回避方法
電源が入らない	電源コードの抜け 電源コードの破損 配電盤ブレーカ OFF	電源コードは UC-XP1 本体にしっかりと差し込んでください。破損した電源コードは火災の原因となります。新しい電源コードと取り替えてください。 配電盤ブレーカーが OFF になってないか確認ください。
映像が表示されない	接続ケーブルの不具合または同期信号の結線不良 ディスプレイ機器の不具合 接続距離が長い場合の同期信号の反射現象	UC-XP1 の出力信号をテストパターンに切替えて見てください。テストパターンが表示される場合は UC-XP1 に入力信号が入っていません。 他のディスプレイ機器が用意できる場合は、他の機器で表示されるか確認ください。 UC-XP1 の出力信号形式と出力同期信号形式がディスプレイ機器の仕様に合わせているか確認してください。また、ディスプレイ機器までの距離が長い場合、同期信号の反射現象により不具合を起こす場合があります。この場合は、同期信号を 75Ω 終端することにより回避できる場合があります。
映像表示が不安定になる	接続ケーブルの不具合 接続距離が長い場合の同期信号の反射現象 ディスプレイ機器が常時オート画面設定動作をしている	表示映像が時折不安定になる場合は、同期信号が不安定であると考えられます。同期信号を 75Ω 終端することにより回避できる場合があります。 映像が暗くなったとき誤動作を起こすような場合は、ディスプレイ機器の常時オート機能を停止して頂くか、UC-XP1 のポーター付加機能を使用して回避できます。
表示映像が白跳びまたは黒つぶれしたような映像になる	プロセス調整の過大設定 UC-XP1 とディスプレイ機器間で校正が極端にズレている	まず、UC-XP1 のテストパターンを表示し、ディスプレイ機器側の調整を行ってください。10 ステップの階段波形の階調が正しく出るように調整します。次に、UC-XP1 の各プロセス調整値を確認してください。必要以上に過大調整すると、映像に白跳びや黒つぶれが出る場合があります。
出力映像の色合いがおかしい	ディスプレイ機器間との RGB 信号配線の不具合 プロセス調整の過大設定	ディスプレイ機器間の接続で、R, G, B の 3 本の信号が正しく配線されているか確認ください。 UC-XP1 のプロセス COLOR や HUE を過大調整すると色合いがおかしく見える場合があります。
映像表示の 4 辺のどこかに、黒い帯がでる	UC-XP1 とディスプレイ機器間で校正がズレている オーバースキャン設定の設定値が小さすぎる	UC-XP1 とディスプレイ機器間で、画面サイズの調整がズレている可能性があります。UC-XP1 からテストパターンを発生させ、ディスプレイ機器を調整してください。 UC-XP1 のオーバースキャン調整を +5% より小さい値にすると、入力されるビデオ信号の品質によっては黒帯の見える場合があります。
映像表示が縦、または横に伸びたように表示される	入出力間で映像アスペクト処理が不適切	『1. ファーストセットアップ（必ずお読みください！）』と、『7-4. 入力信号のアスペクト変換（ID-1 とリサイズ）』を今一度参考の上、設定を変更してください。
映像表示が時々フリーズする	シームレス動作 ON で使用中に、品質の悪い信号を入力した	『7-8. シームレス動作機能』を今一度参考の上、設定を変更してください。
映像表示がボケている	ノイズリダクション使用 エンハンサー調整をマイナスで使用 UC-XP1 とディスプレイ機器間の距離が長いまたは配線が細い UC-XP1 とディスプレイ機器間の解像度設定が不適切	ノイズリダクションの使用や、プロセス ENHANCE をマイナス設定にすると映像がボケる場合があります。適切な設定にしてください。また、ディスプレイ機器間に細く長い同軸ケーブルを使用すると周波数低下により映像がボケます。 UC-XP1 とディスプレイ機器間の解像度を合わせてください。解像度が違うと、ディスプレイ機器の拡大機能等により映像の解像度が極端に劣化する場合があります。

1. 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ることなく複製、改変、引用、転載することを禁止します。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本機のファームウェアおよびハードウェアに対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することを禁止します。
6. 乱丁本、落丁本の場合はお取替えいたします。当社、営業窓口までご連絡ください。

イメージニクス株式会社
All Rights Reserved. 2010

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

製造元 イメージニクス株式会社

お問い合わせは下記営業本部または営業所までおねがいします。

本社 技術本部 〒182-0022 東京都調布市国領町 1-31-5

TEL 042-440-7811 FAX 042-440-7812

営業本部 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-16-7 ハイウェービル 6F

TEL 03-3464-1401 FAX 03-3477-2216

大阪営業所 〒534-0025 大阪市都島区片町 2-2-48 MID 京橋ビル 3F

TEL 06-6354-9599 FAX 06-6354-9598

福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-18-25 第5博多借成ビル 3F

TEL 092-483-4011 FAX 092-483-4012

<http://www.imagenics.co.jp/>

この印刷物は再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。

1012MU V3.2